きがるにワーク　読む　役立つ

若手作曲家発掘 ISJAC賞

秩父英里さん 日本人初受賞

仙台出身・米在住

仙台市出身の作曲家、ピアニストの秩父英里さん(27)＝米ボストン在住＝が、2020年国際ジャズ作編曲家協会（ISJAC）賞を受賞した。国際的な活躍が期待される若手作曲家に向けた賞で、日本人の受賞は初。自身の人生の歩みを題材にした曲「The Sea−Seven Years Voyage−」のストーリー性が評価された。

同協会は47カ国、1300人のジャズ作編曲家、教育者らが参加する国際団体。賞は若手作曲家の発掘と支援を目的に2019年創設された。応募時に26歳以下の学生が対象で、受賞者は秩父さんが2人目。

受賞作品「The Sea」は、秩父さんが仙台で東日本大震災に遭い、米国留学を経て作曲家として歩み出すまでの7年間を航海に例えた。サックス、トランペット、フルート、クラリネットなど9人編成で書かれた。

震災後「7年の航海」作品に

震災で自身に大きな被害はなかったが「人生は流されていくように、何が起こるか分からない」と考える契機となったという。

東北大卒。同大モダンジャズ研究会と軽音楽部に所属した。2016年に米バークリー音楽大に留学。ジャズ作曲と映像音楽を学び昨年12月に首席で卒業した。同大の奨学金と、被災地復興支援でサントリーグループが創設した音楽奨学金を留学費用に充てた。

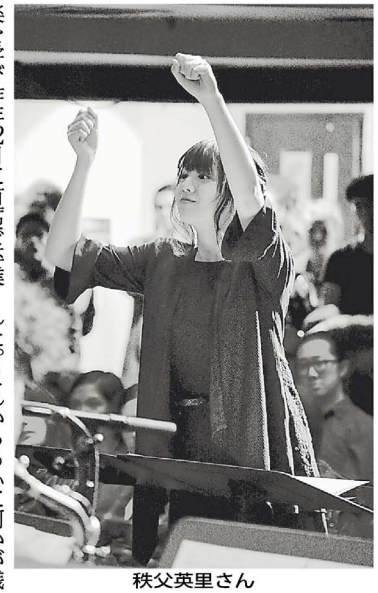
昨年には米国作曲家作詞家出版社協会（ASCAP）の「ハーブ・アルバート ヤングジャズコンポーザー賞」も獲得。同賞は先月の米グラミー賞候補に選出されたジャズ作曲家の挾間美帆さんが過去に受賞している。

秩父さんは河北新報の取材に「日本を離れ米国で生活する中、不安やつらい時期もあったが、家族や友人らの励ましに支えられた。これからも心に何かが残ったり、気持ちがふわっとしたりする作品を作っていきたい」と話した。

仙台市内のジャズバーなどで度々協演した同市のサックス奏者林宏樹さんは「すごいこと。仙台から世界へと飛躍してほしい」と受賞を喜ぶ。

「The Sea」は動画投稿サイト「ユーチューブ」（QRコード参照）で公開している。

「The Sea」演奏動画のQRコード



秩父英里さん

（2020年２月19日河北新報朝刊）

河北新報の記事を題材に、学校や家庭で学ぶためのワークシートです。宮城県内の小中高校の教員や教員経験者が出題します。

かほくワークシート

問　題

（１）仙台市出身の秩父英里さんの記事中の次の言葉を英語にしてみましょう。

①「人生は何が起こるか分からない」

②「（私は）家族や友人らの励ましに支えられた」

（２）ユーチューブで彼女の演奏を聞き、コメントを書きましょう。

（中学、高校生／英語）

出題者から

このニュースは仙台市、日本にとっても大変な快挙です。おめでとうございます！　今回のアクティビティは二つ。まず英作文①は東日本大震災の時や新型コロナウイルスの影響が騒がれている今、そして今後の人生でも何度使うか分からない文章です。②は感謝を伝える表現です。これから先、お世話になった人には必ず言いましょう。実際に秩父さんの演奏を聞き、英語でも日本語でもいいのでコメントしてみましょう。

（日本新聞協会ＮＩＥアドバイザー・名取北高英語科教諭　大槻欣史）

※「かほくワークシート」は「河北新報オンラインニュース」からダウンロードし、Ａ４判に印刷できます。模範解答も載っています。

◎３月１５日かほくワークシート模範解答

（１）仙台市出身の秩父英里さんの記事中の次の言葉を、英語にしてみましょう。

① 「人生は何が起こるか分からない。」
I can’t tell what will happen in life.【関係代名詞の what】

② 「（私は）家族や友人らの励ましに支えられた。」
I was supported by the encouragement of my family and friends.【受動態】

（２）ユーチューブで彼女の演奏を聞き、コメントを書きましょう。
模範解答なし